

# 第1章 本町の現状と課題

## 1-1 人口の推移・分布

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○本町の人口は8,485人（H27現在）、少子高齢化が進行しています。</li> <li>○結崎地区（駅周辺部及び駅西側）に高密度で人口が集積し、かつ高齢化率は比較的低い水準となっています。</li> <li>○一方、<b>結崎地区以外の人口は低密度</b>であり、かつ<b>高齢化率も高い水準</b>となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 少子高齢化の進行に伴い、<b>自家用車に頼らない移動手段の確保及びバリアフリーの推進</b>が必要です。</li> <li>▶ 地域の現状（人口集積、駅までの距離）に応じた効果的な交通施策の展開が必要です。</li> </ul>

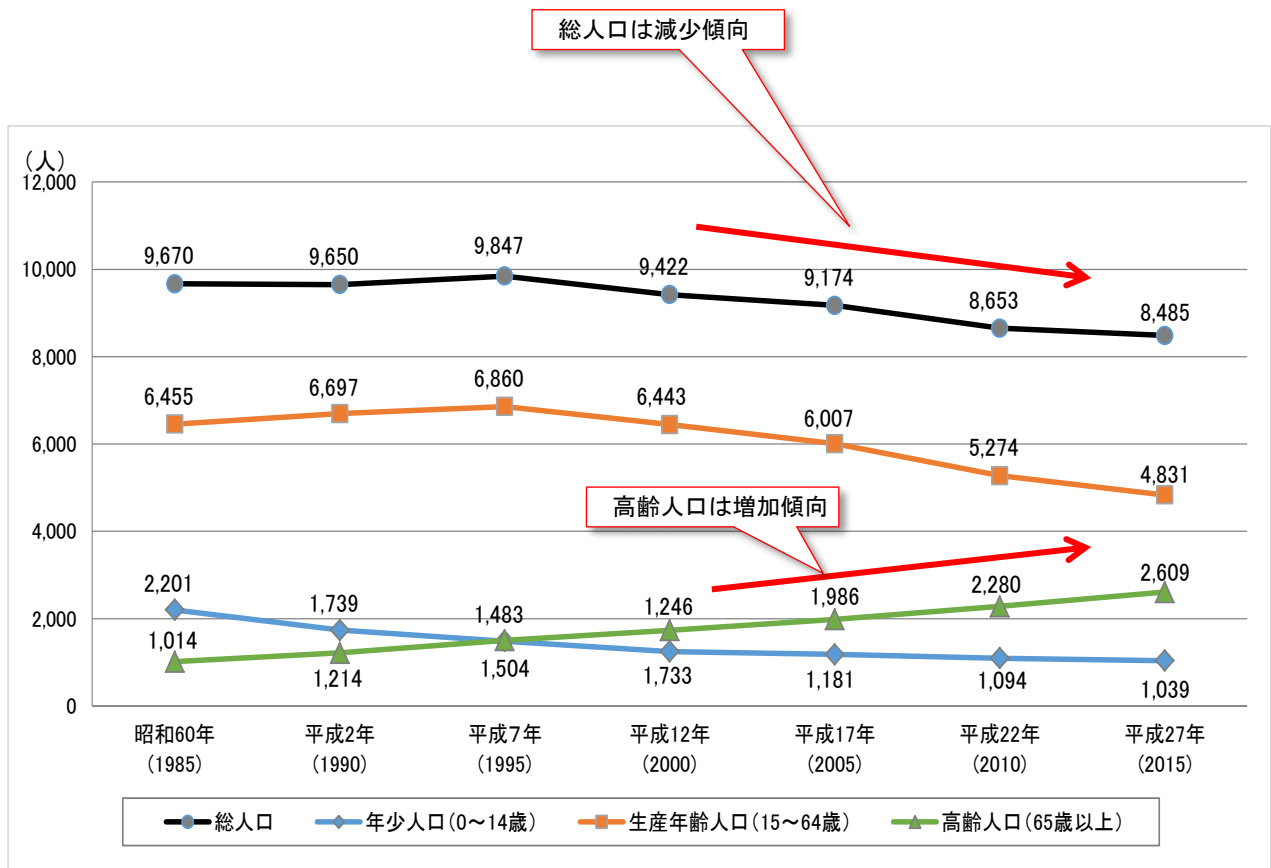


図 年齢階層別人口推移

注) 国勢調査値について

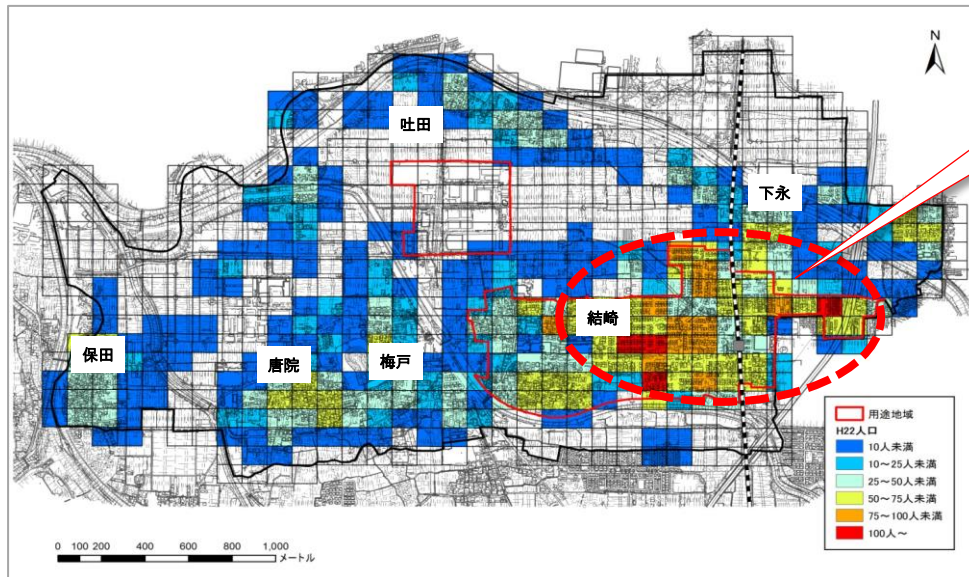
資料：国勢調査

国勢調査は平成27年が最新であるが、平成28年12月現在公表されている値は限定されているため、図表掲載データは平成27年または平成22年までの場合がある。

地区名	総人口	65歳以上人口	高齢化率
結崎 (ゆうざき)	5,349	1,254	23%
下永 (しもなが)	872	268	31%
吐田 (はんだ)	567	173	31%
梅戸 (うめど)	506	153	30%
唐院 (とういん)	852	272	32%
保田 (ほた)	507	160	32%
計	8,653	2,280	26%

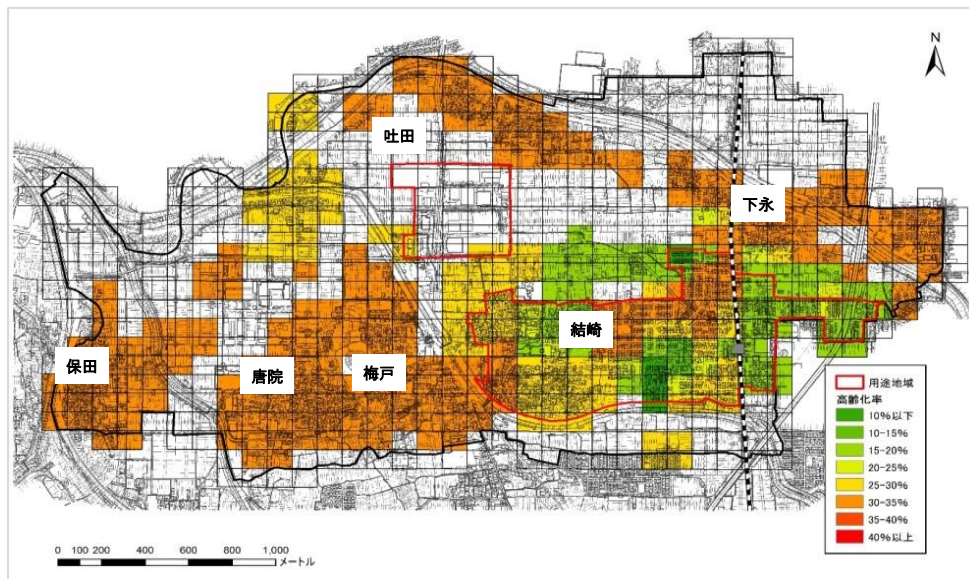
・結崎地区以外では高齢化率が高い

地域別人口・高齢化率（平成22年）



・高密度に人口が集積

国勢調査 人口メッシュ（平成22年）

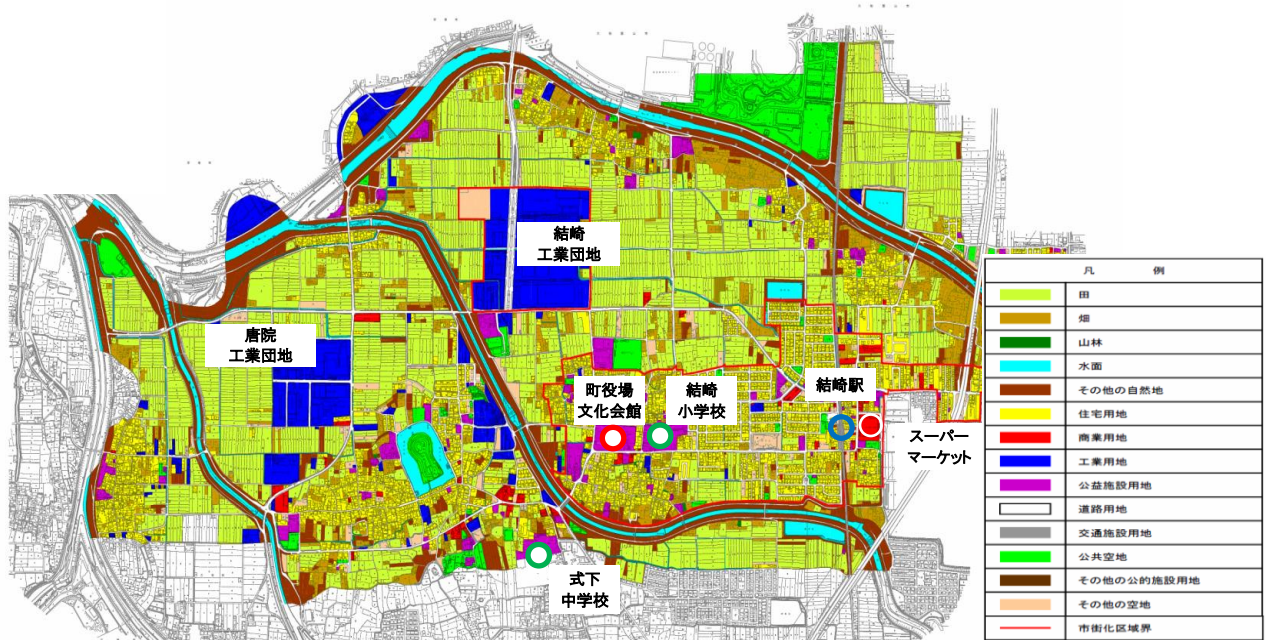


国勢調査 高齢化率（平成22年）

資料：国勢調査

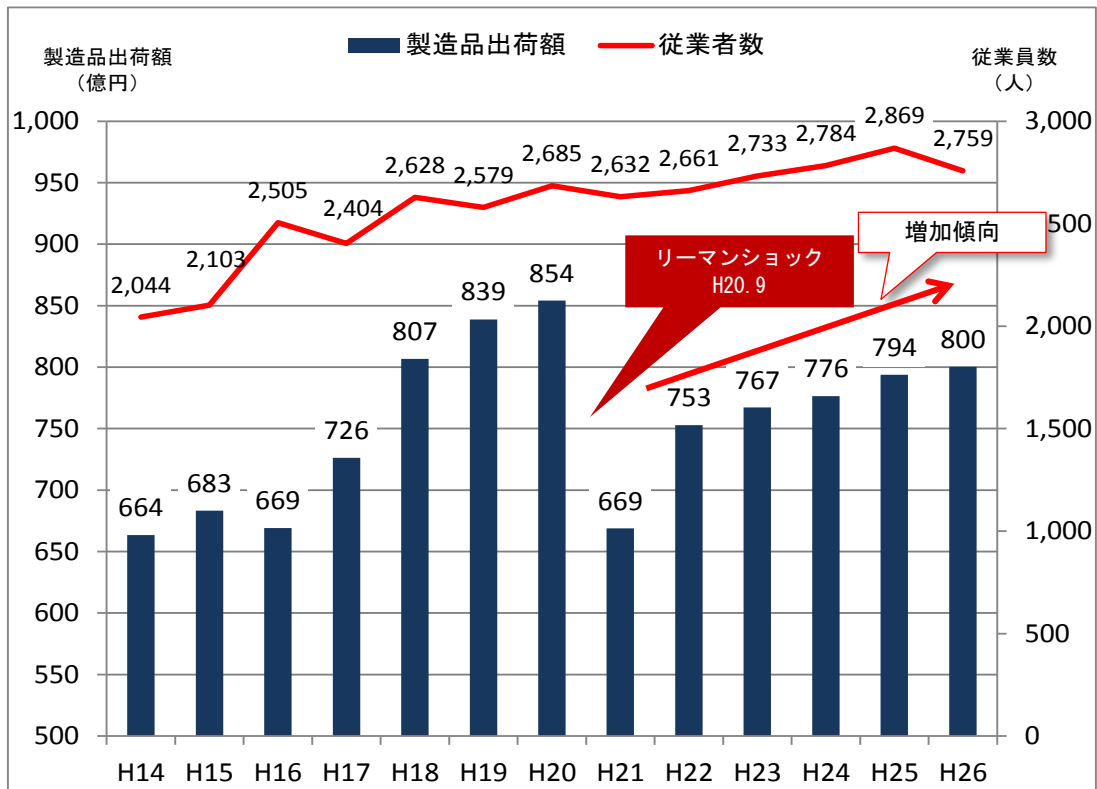
## 1-2 土地利用・産業

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p><b>【土地利用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○結崎駅～町役場の地域はまとまった宅地を形成し、町役場、文化会館等の公共サービス施設が立地しています。</li> <li>○比較的規模の大きな商業施設として結崎駅東側に「スーパーマーケット」があります。</li> <li>○本町は「<b>結崎工業団地</b>」「<b>唐院工業団地</b>」の二つの工業集積地を有しています。</li> </ul> <p><b>【商工業、観光】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○工業活動（出荷額）は平成 21 年にリーマンショックにより、一旦落ち込みが見られましたが、その後堅調に推移しています。</li> <li>○商業活動（販売額）は縮小傾向が続いています。</li> <li>○本町には奈良盆地最大級古墳である「島の山古墳」、また「能楽発祥の地」であるなど歴史文化資源を有しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 交通結節点である「結崎駅」、及び公共サービス施設が立地する「町役場」周辺への「行きやすさ」「利用しやすさ」の向上が必要です。</li> <li>▶ 「<b>結崎駅</b>」と「<b>商業施設</b>」が<b>近接</b>して立地しており、駅周辺地域の一体的な利便性向上により「賑わい」の創出が期待されます。</li> <li>▶ 二つの「工業団地」の存在は本町の強みであり、<b>企業活動に資する道路ネットワークの推進</b>が重要です。</li> <li>▶ 本町固有の歴史文化資源と豊富な自然、田園により、個性ある観光ネットワーク形成が可能です。</li> </ul>



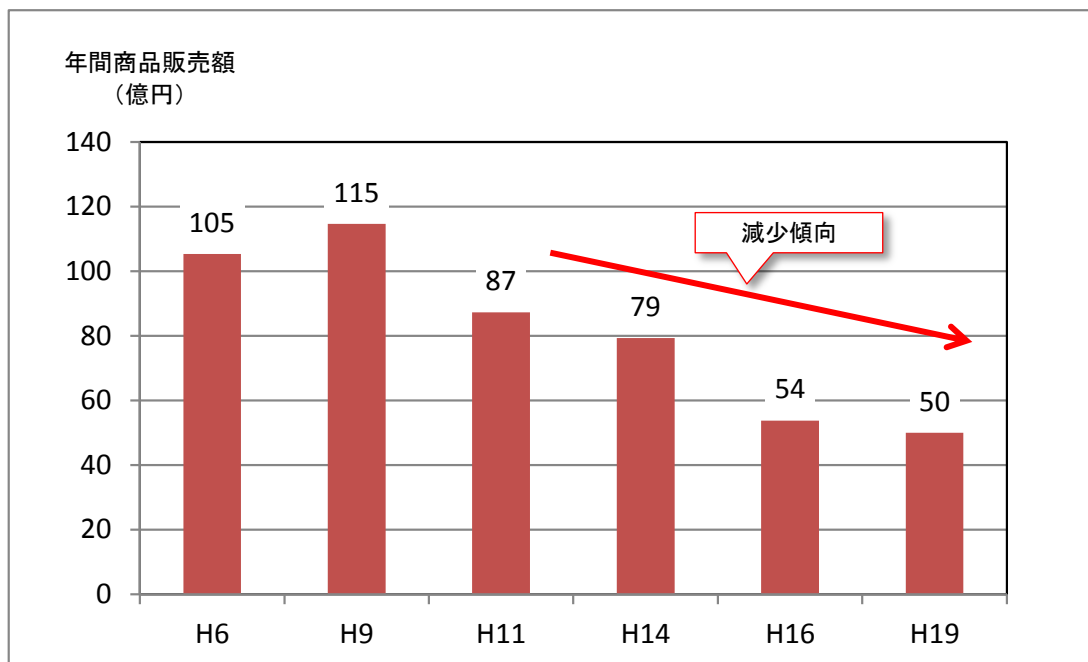
土地利用図

資料：平成 26 年度 都市計画基礎調査



工業製造品出荷額・従業者数の推移(川西町)

資料：経産省「工業統計」



商品販売額の推移(川西町)

資料：経産省「商業統計」

# 川西町観光マップ

かわにしちようかんこうまっぷ

## 散策モデルコース

### ① 結崎駅

近鉄線原線の駅、川西町の玄関口。

徒歩15分

### ② 面塚

「戦国」発祥の地であることを示した石碑があります。春は提灯の灯に横えられた桜が一面に開花し、たいへん美しい。(詳しくは面塚のページ参照)

徒歩5分

### ③ 糸井神社

約千年前の書物にも記載されている山姥ある神社(詳しくは神社のページ参照)。

徒歩10分

### ④ 島の山古墳・比売久波神社

島の山古墳は国の史跡でもあり、県内でも有数の規模を誇ります。(詳しくは島の山古墳・神社のページ参照)

徒歩20分

### ⑤ 富貴寺・光林寺・六果神社

国・県の指定を受けた仏像や本堂など歴史ある文化財があります。(詳しくは文化財のページ参照)

徒歩30分

### ⑥ 油掛け地蔵

成立は大永3年(1523年)で、合型光背の高さが約61センチの地蔵立像です。できものを治してもらうために願をかける日には、油をかける習わし(油掛け)があることから、油掛け地蔵と名前がつけられました。



徒歩30分

### ⑦ 八幡神社

明治25年建立の鳥居、多数の石灯籠や船馬が残る神社。白米寺(願寺)の取壊屋があります。



----- 散策モデルコース  
 ----- 迂回コース  
 細かい町並みや賑わいを体験している社寺を通過します。

## 川西町の歴史 聖徳太子の通学路「太子道(筋違い道)」

現在、面塚のあるところの地下にある弥生時代の面塚遺跡や、寺川と大和川の合流地点付近の古墳時代の南吐田遺跡など、また最近発見された6世紀前半の円筒埴輪からみても、川西町が古代から住居地であったことはほぼ間違いないようです。そこで注目されるのが聖徳太子の通学路と言われていた「太子道」です。飛鳥の里から川西町を渡って法隆寺へ行く最短距離をとるためのもので、当時の桑理制、南北の筋に対して斜交する(西へ約20°)ことから「筋違い道」とも呼ばれています。

## 文化財

種別	所在地	名称	区分	指定年月日
国指定	島	島の山古墳	史跡	平成14年9月20日
	古築寺(下永東城)	木造阿彌陀如来坐像	彫刻	昭和24年2月18日
	面塚	木造地蔵菩薩立像	彫刻	昭和24年2月18日
町指定	富貴寺(保田)	富貴寺本堂	建築	昭和29年3月20日
	面塚	木造地蔵菩薩立像	彫刻	大正8年4月12日
	光林寺(保田)	木造釈迦如来立像	彫刻	昭和24年2月18日
	比売久波神社(原院)	比売久波神社本殿	建築	昭和42年3月27日
	白米寺(願寺)	木造不動明王立像	彫刻	昭和44年3月28日
	糸井神社(結崎)	結崎のおかげ通り船馬	有形民俗文化財	昭和62年3月10日
	面塚	結崎の太鼓踊り船馬	有形民俗文化財	平成6年3月25日
	光林寺(保田)	本堂及び佛門	建築	平成17年3月29日
	保田(白米寺)	六果神社の保田願寺(子出来オランダ)	有形民俗文化財	平成18年3月31日

※町指定文化財については、川西町教育委員会社会教育課へお問い合わせください。

## 年中行事



子出来おんだ祭り  
 ...2月11日/六果神社



糸井神社秋祭り・子ども相撲  
 子ども相撲...10月第2日曜  
 秋祭...10月第4日曜とその前日

## 川西町観光マップ

資料：町資料

### 1-3 代表交通手段

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○本町を出発地または目的地とする代表交通手段は「<b>自動車（51.2%）</b>」が最も多く、次に「徒歩（18.6%）」となっています。</p> <p>○登校を除く、全ての目的で自動車が最も多くなっています。</p>	<p>▶ 現状、<b>地域交通の主役は「自動車」</b>であり、「自動車」利用の利便性、安全性向上等の対応が必要です。</p> <p>▶ 一方で、環境負荷の少ない<b>公共交通（電車、バス）、「徒歩」、「自転車」への転換</b>を推進することが必要です。</p>

平日 単位:トリップ

	1. 鉄道	2. バス	3. 自動車	4. 自動二輪・原付	5. 自転車	6. 徒歩	7. その他	8. 不明	合計
1.出勤	1,293	27	3,192	306	300	150	0	0	5,268
2.登校	460	38	63	0	220	1,001	0	0	1,782
3.自由	493	38	4,515	257	1,653	2,009	15	92	9,072
4.業務	233	0	3,003	223	104	220	22	0	3,805
5.帰宅	2,041	87	7,113	602	1,939	3,126	0	72	14,980
6.不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>計</b>	<b>4,520</b>	<b>190</b>	<b>17,886</b>	<b>1,388</b>	<b>4,216</b>	<b>6,506</b>	<b>37</b>	<b>164</b>	<b>34,907</b>

平日 単位:%

	1. 鉄道	2. バス	3. 自動車	4. 自動二輪・原付	5. 自転車	6. 徒歩	7. その他	8. 不明	合計
1.出勤	24.5	0.5	60.6	5.8	5.7	2.8	0.0	0.0	100.0
2.登校	25.8	2.1	3.5	0.0	12.3	56.2	0.0	0.0	100.0
3.自由	5.4	0.4	49.8	2.8	18.2	22.1	0.2	1.0	100.0
4.業務	6.1	0.0	78.9	5.9	2.7	5.8	0.6	0.0	100.0
5.帰宅	13.6	0.6	47.5	4.0	12.9	20.9	0.0	0.5	100.0
6.不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>計</b>	<b>12.9</b>	<b>0.5</b>	<b>51.2</b>	<b>4.0</b>	<b>12.1</b>	<b>18.6</b>	<b>0.1</b>	<b>0.5</b>	<b>100.0</b>

目的別代表交通手段（川西町・平日） 「上表：トリップ数」・「下表：構成比」

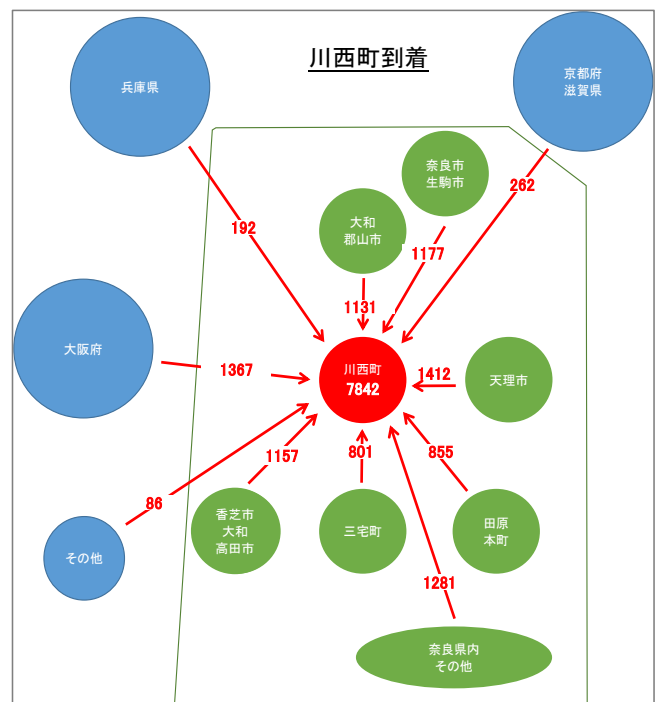
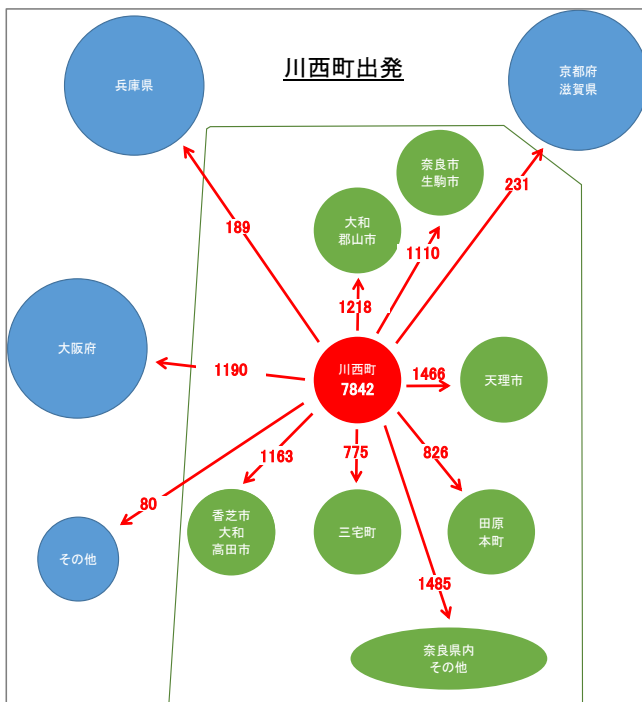
資料：近畿圏パーソントリップ調査 H22

注)データはH22年値であり「路線バス」が廃止後、また「コミュニティバス」も運行されていない時点の状況である。  
表記の「バス」の値は企業等の送迎バスと推定される。

### 1-4 交通流動（川西町を中心とする人の動き）

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○本町を出発地または目的地とする交通は「川西町内（44.9%）」が最も多くなっています。</p> <p>○次いで「天理市（8.2%）」、「大阪府（7.3%）」の順となっています。</p>	<p>➤川西町内での交通需要に主眼を置きつつ、天理市などの近隣市町村や大阪府等、広域交通需要にも考慮が必要です。</p>

		川西町出発 (トリップ)	川西町到着 (トリップ)	発着計 (トリップ)	構成比 (%)
奈良県	川西町	7,842	7,842	15,684	44.9
	三宅町	775	801	1,576	4.5
	田原本町	826	855	1,681	4.8
	大和郡山市	1,218	1,131	2,349	6.7
	天理市	1,466	1,412	2,878	8.2
	奈良市・生駒市他	1,110	1,177	2,287	6.6
	香芝市・大和高田市	1,163	1,157	2,320	6.6
	その他(奈良県内)	1,254	1,281	2,535	7.3
県外	滋賀・京都	231	262	493	1.4
	大阪府	1,190	1,367	2,557	7.3
	兵庫県	189	192	381	1.1
	和歌山県	0	0	0	0.0
	域外	80	86	166	0.5
<b>全域計</b>		<b>17,344</b>	<b>17,563</b>	<b>34,907</b>	<b>100.0</b>



出発地⇄到着地 交通量（トリップ数・構成比）

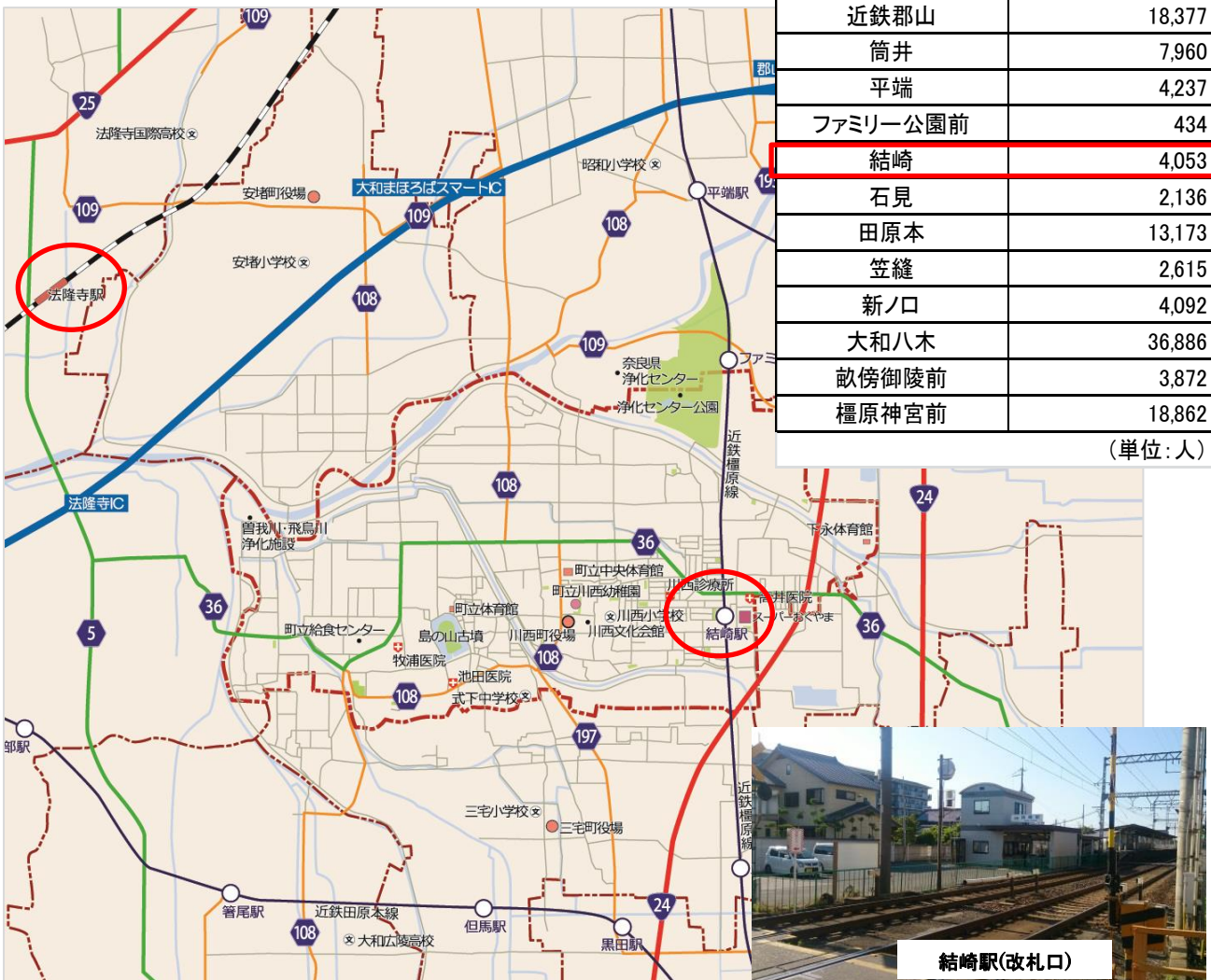
資料：近畿圏パーソントリップ調査 H22

1-5 公共交通（周辺鉄道駅）

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○町内には「近鉄橿原線 結崎駅」があり町の玄関口となっています。（乗降人員：4,053人/日）</p> <p>○大阪都心部方面アクセスの直近駅として「JR関西本線 法隆寺駅（斑鳩町）」があります。</p> <p>○町内を発着とする「結崎駅」利用者の駅まで（からの）交通手段は<b>徒歩（57.0%）、自転車（20.6%）</b>が多くなっています。</p> <p>○町内地域性としては、<b>駅に近い「下永」「結崎」</b>では「<b>自転車」「徒歩</b>」が多く、<b>駅から遠い「唐院」「吐田」</b>では「<b>自動車</b>」が多くなっています。</p> <p>○また工業団地のある「結崎」「吐田」「唐院」では「<b>バス（企業送迎バス）</b>」の利用があります。</p>	<p>➤ 結崎駅周辺地区では「徒歩」「自転車」需要への利便性向上と安全確保が必要です。</p> <p>➤ 結崎駅アクセスでは地域特性（駅までの距離）に応じた効果的な施策の展開が必要です。</p>

橿原線	
駅名	乗降人員
大和西大寺	46,530
尼ヶ辻	5,588
西ノ京	7,288
九条	4,937
近鉄郡山	18,377
筒井	7,960
平端	4,237
ファミリー公園前	434
結崎	4,053
石見	2,136
田原本	13,173
笠縫	2,615
新ノ口	4,092
大和八木	36,886
畝傍御陵前	3,872
橿原神宮前	18,862

（単位：人）

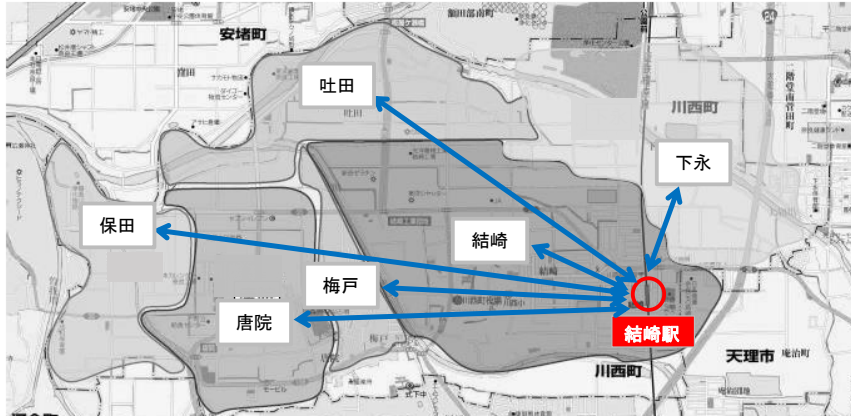


川西町周辺 道路網・鉄道網状況図

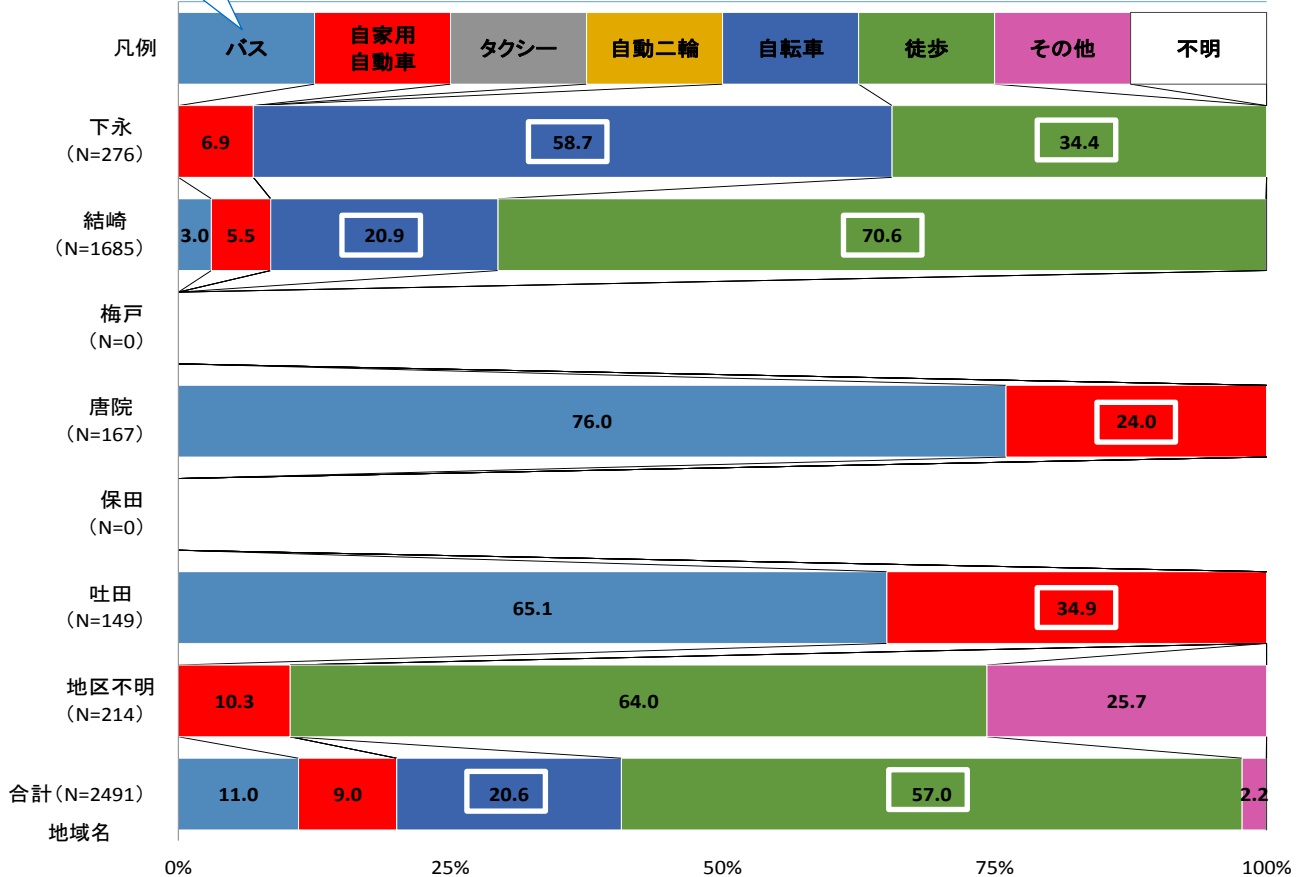


「結崎駅」利用者の、駅まで（から）の町内地域別駅交通手段について [下図]

- ・ 結崎駅利用者の町内での移動手段を把握するため、  
「各地域から駅までの移動」と「駅から各地域までの移動」の数値を抽出しました。
- ・ 数値には、住民以外（町外からの通勤者、来訪者）の移動も含まれています。
- ・ PT 調査は標本抽出調査であり、有効サンプル数を拡大し集計しています。  
「梅戸」「保田」に関しては、結崎駅利用者のサンプル数は0となっています。



データはH22年値であり、「路線バス」が廃止後、また「コミュニティバス」も運行前の時点の数値です。したがって、結崎・唐院・吐田の「バス」の値は、従業員等専用の「企業送迎バス」による利用と推定されます。



「結崎駅」利用者の、駅まで（から）の町内地域別駅交通手段（平日）（N=母数）

資料：近畿圏パーソントリップ調査 H22

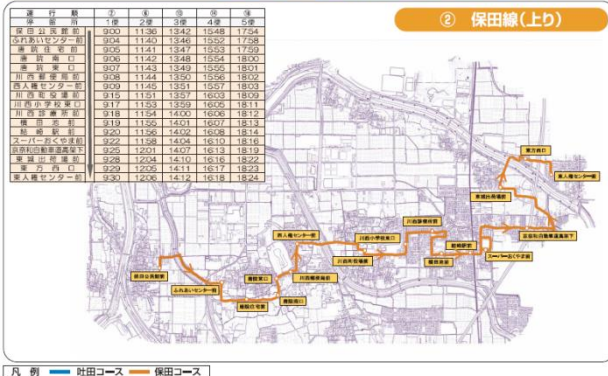
1-6 公共交通（バス：「川西こすもす号」）

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○川西町の路線バスは結崎駅から法隆寺駅間で運行していましたが、10年程前に廃止となっています。</p> <p>○平成24年11月より「コミュニティバス」を試行運行し、平成25年には「川西こすもす号」の実証運行が開始され、現在まで継続運行を実施しています。</p> <p>○「川西こすもす号」の利用者数は、平成26年8月～平成27年5月では一旦減少傾向となりましたが、平成27年6月～平成28年3月は堅調に推移しています。</p> <p>○乗降数では「スーパーおくやま前」、「結崎駅前」が多くなっています。</p> <p>○吐田、梅戸、唐院、保田地区の利用比率が高く、中心部までの距離や高齢化率を反映した利用となっています。</p>	<p>▶「川西こすもす号」は「結崎駅と各地域」、及び「各地域」相互を連絡する、唯一の公共交通であり、高齢化社会に向けて<b>路線の維持</b>は必要不可欠です。</p> <p>▶利用者数は堅調に推移していますが、今後もPDCAサイクルにより、一層の<b>利用者増、定着</b>を図ることが重要です。</p>



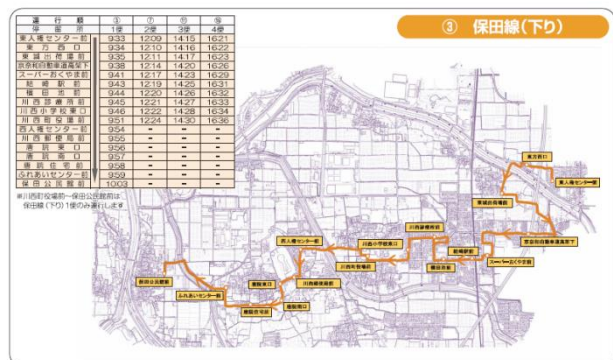
平成28年12月1日(木)改正 川西こすもす号路線図・時刻表 (運休日：土・日・祝日・12/31～1/3)

**川西こすもす号**  
 【運賃】1乗車につき一律「100円」  
 【特別運行】1乗車につき一律「100円」  
 【年末運行】12月30日まで運行  
 ※定員(12名)を超える場合は乗車できませんのでご注意ください。川西町 総務部 総合企画課 電話：0745-44-2213 FAX：0745-44-4734



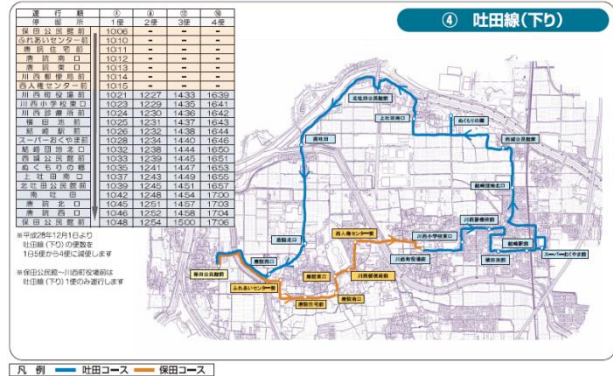
平成28年12月1日(木)改正 川西こすもす号路線図・時刻表 (運休日：土・日・祝日・12/31～1/3)

**川西こすもす号**  
 【運賃】1乗車につき一律「100円」  
 【特別運行】1乗車につき一律「100円」  
 【年末運行】12月30日まで運行  
 ※定員(12名)を超える場合は乗車できませんのでご注意ください。川西町 総務部 総合企画課 電話：0745-44-2213 FAX：0745-44-4734



平成28年12月1日(木)改正 川西こすもす号路線図・時刻表 (運休日：土・日・祝日・12/31～1/3)

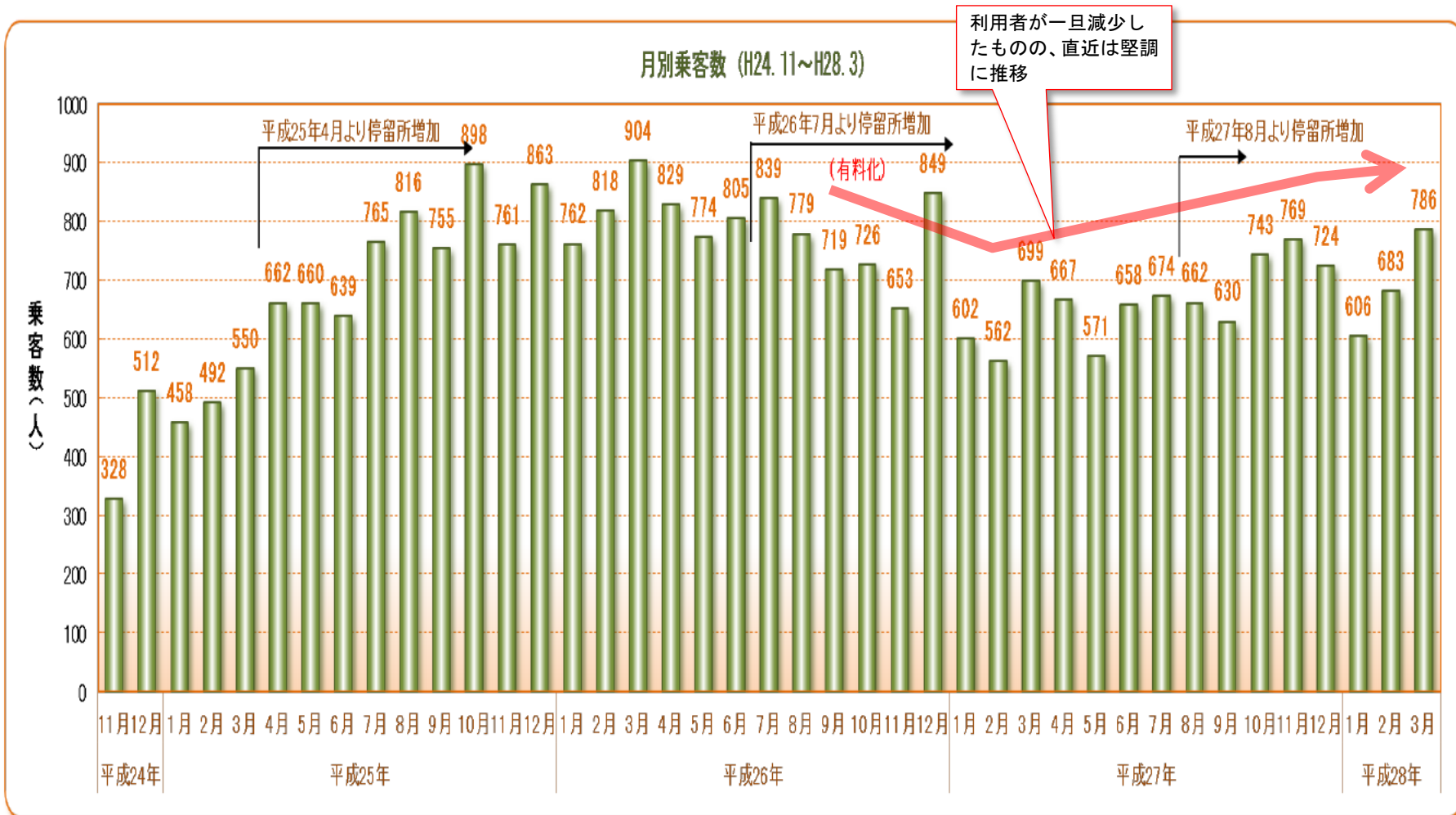
**川西こすもす号**  
 【運賃】1乗車につき一律「100円」  
 【特別運行】1乗車につき一律「100円」  
 【年末運行】12月30日まで運行  
 ※定員(12名)を超える場合は乗車できませんのでご注意ください。川西町 総務部 総合企画課 電話：0745-44-2213 FAX：0745-44-4734



平成28年12月1日(木)改正 川西こすもす号路線図・時刻表 (運休日：土・日・祝日・12/31～1/3)

**川西こすもす号**  
 【運賃】1乗車につき一律「100円」  
 【特別運行】1乗車につき一律「100円」  
 【年末運行】12月30日まで運行  
 ※定員(12名)を超える場合は乗車できませんのでご注意ください。川西町 総務部 総合企画課 電話：0745-44-2213 FAX：0745-44-4734

資料：町資料

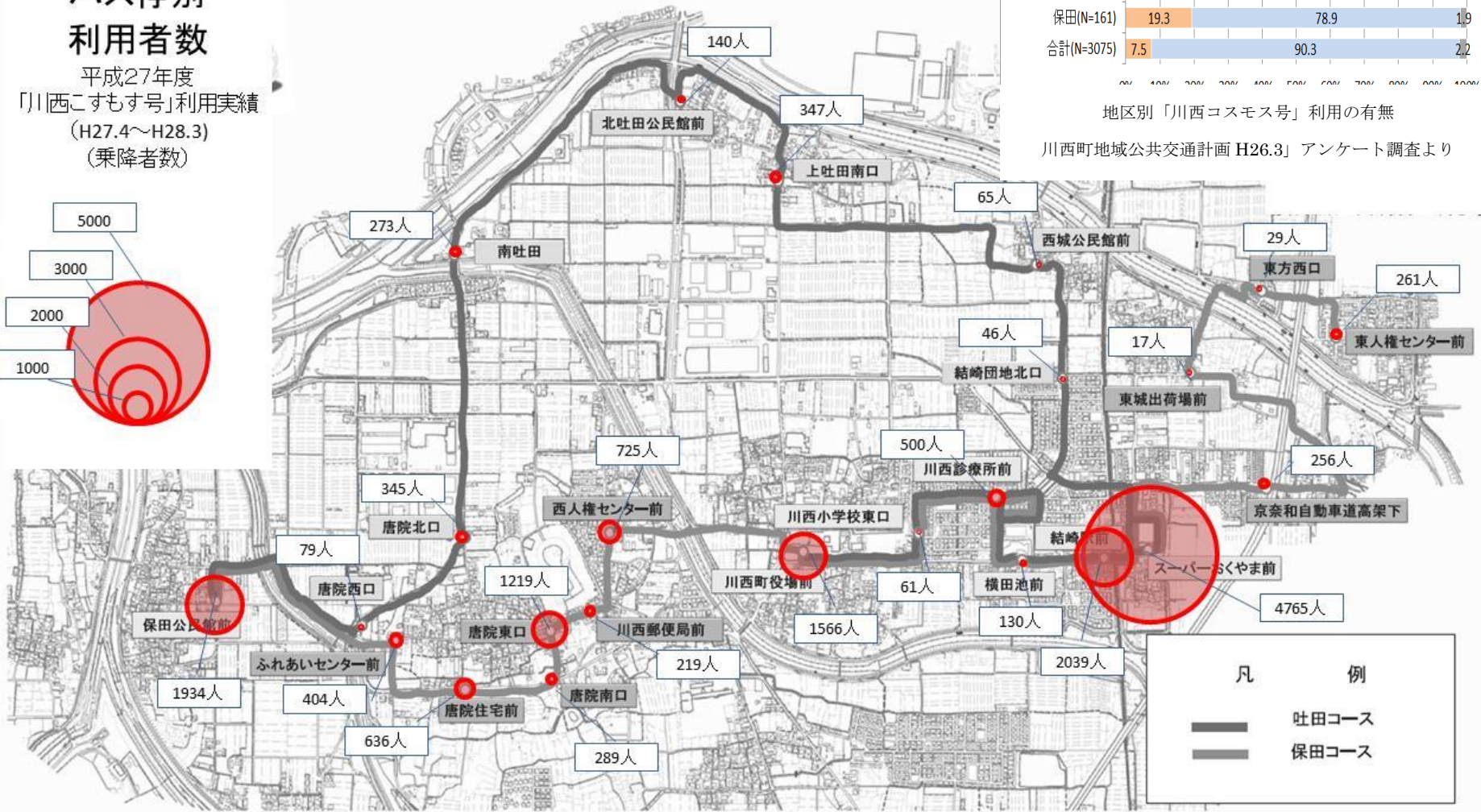
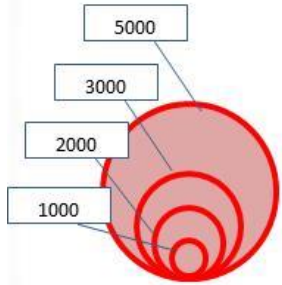


「川西こすもす号」利用者数の推移

資料：町資料

# バス停別 利用者数

平成27年度  
「川西こすもす号」利用実績  
(H27.4~H28.3)  
(乗降者数)



地区	乗降者数	乗降率	乗降率(%)
結崎(N=1856)	2.9	95.2	1.9
下永(N=280)	3.2	95.0	1.8
吐田(N=236)	20.8	78.4	0.8
梅戸(N=123)	15.4	78.9	5.7
唐院(N=307)	19.9	78.8	1.3
保田(N=161)	19.3	78.9	1.9
合計(N=3075)	7.5	90.3	2.2

地区別「川西コスモス号」利用の有無

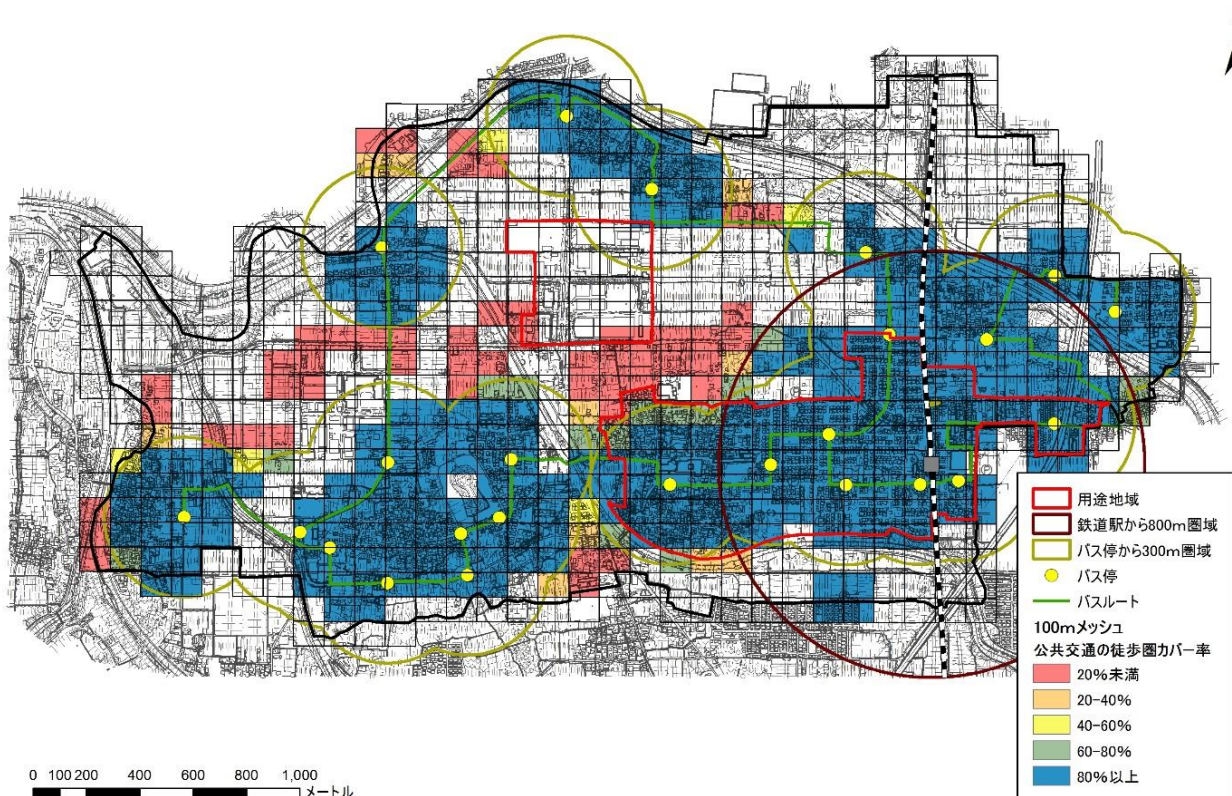
川西町地域公共交通計画 H26.3」アンケート調査より

「川西こすもす号」バス停別利用者数

## 1-7 公共交通カバー率

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○本町の公共交通の徒歩圏（駅 800m、バス停 300m）としたカバー率の状況をみると、カバーしている人口は8,205人となり、総人口に対する<b>人口カバー率は 94.8%</b>となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 公共交通の「基盤（ルート、バス停）」は一定の水準にあります。</li> <li>▶ より一層の利用者増を図るためには、ルート延長やバス停数などの「量」だけでなく、「定時性」、「運行時間帯」、「頻度」、「快適性」など、「<b>質</b>」の向上が重要です。</li> </ul>

川西町 平成 22 年総人口 (a)	8,653 人
公共交通の徒歩圏人口 (b)	8,205 人
公共交通の人口カバー率 (b/a)	94.8%
〃 (全国平均値)	55.0%



注：徒歩圏境界にあるメッシュ区画の人口は、当該メッシュ区画人口をカバー面積比で按分し算出。

公共交通の人口カバー率

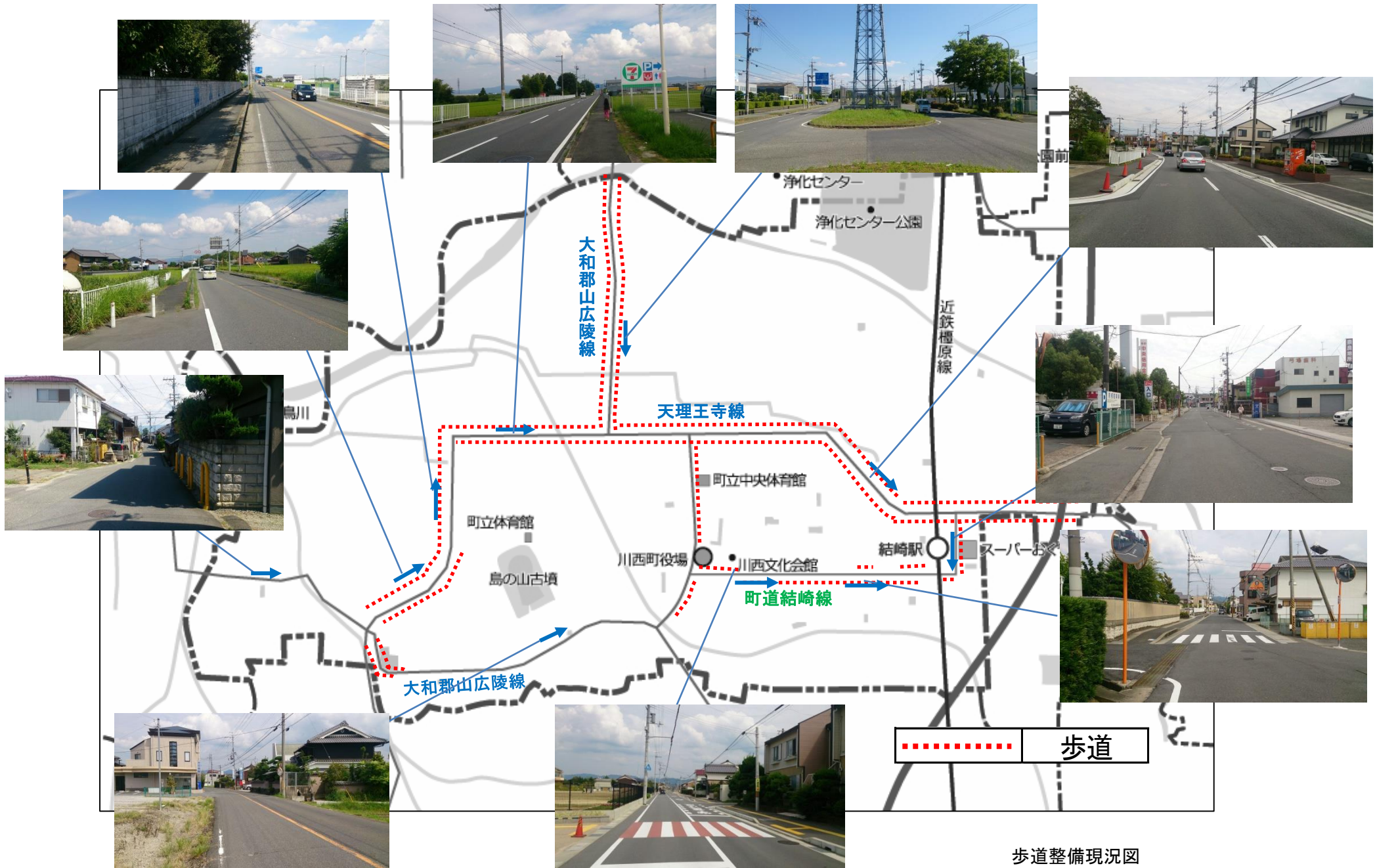
## 1-8 道路整備状況

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○本町の道路網は南北に「大和郡山広陵線」、東西に「天理王寺線」の県道があります。</p> <p>○上記、県道と市街地、集落にある町道等により道路ネットワークが形成されています。</p> <p>○未整備の都市計画道路があります。</p> <p>○町道は、通学路など身近な生活道路としての役割を持っていますが、狭幅員の区間や危険（交通面、防犯面）と指摘されている箇所があります。</p>	<p>▶ 未整備の都市計画道路は、本町の骨格を形成するルートであり、<b>整備促進、早期完成</b>が望まれます。</p> <p>▶ <b>通学路</b>を含む町道の<b>歩道整備、バリアフリー化、幅員狭小部の解消</b>等の整備推進が必要です。</p> <p>▶ 場所や時間を問わず、<b>安心して移動ができる環境づくり</b>が必要です。</p>



川西町域道路網図

※自動車交通量はH22 道路交通センサス

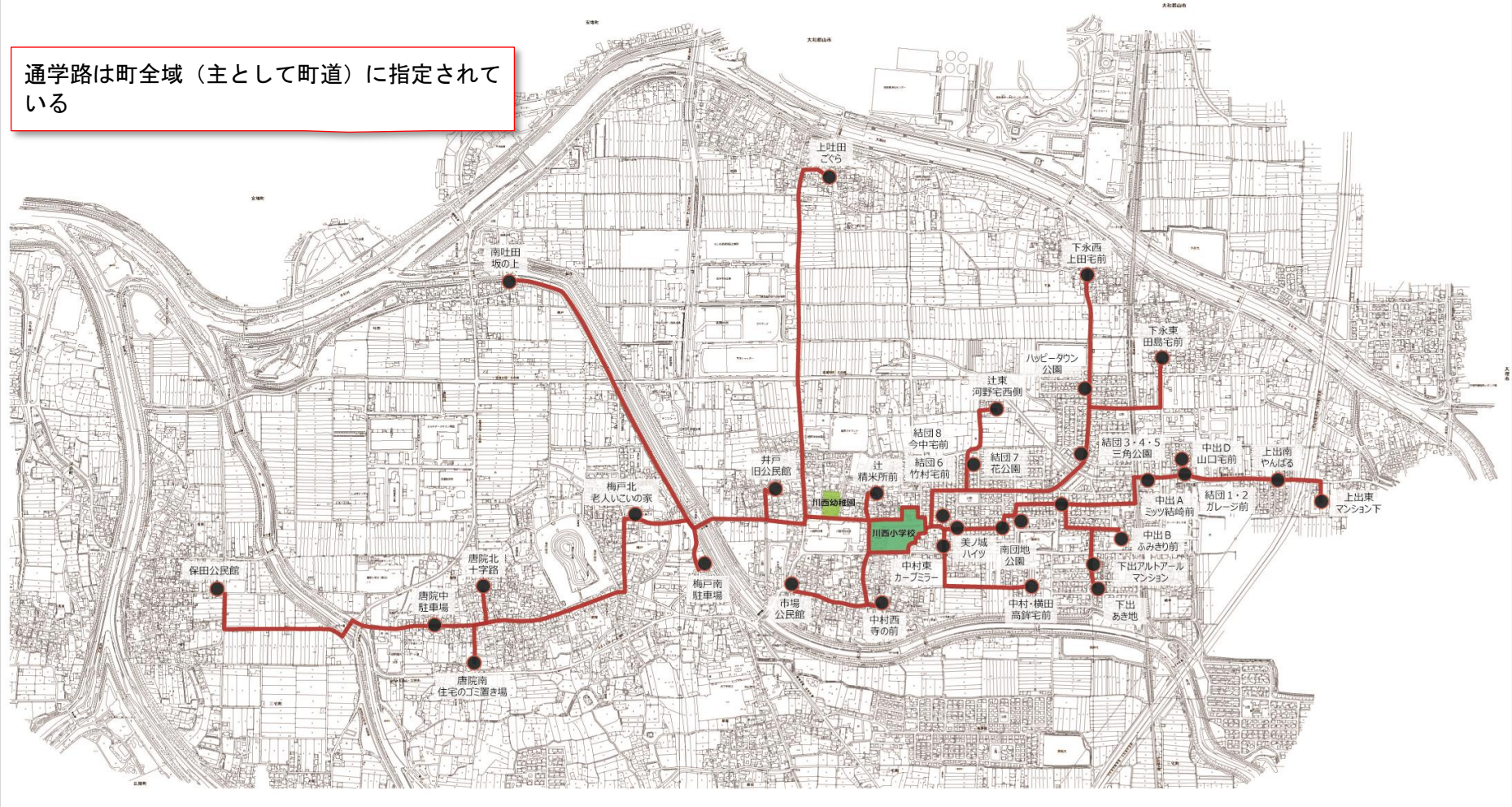


歩道整備現況図

※「県道」、及び「町道結崎線」を対象に歩道設置区間を图示。

## 【小学校】部団の通学路と集合場所

通学路は町全域（主として町道）に指定されている



資料：町資料




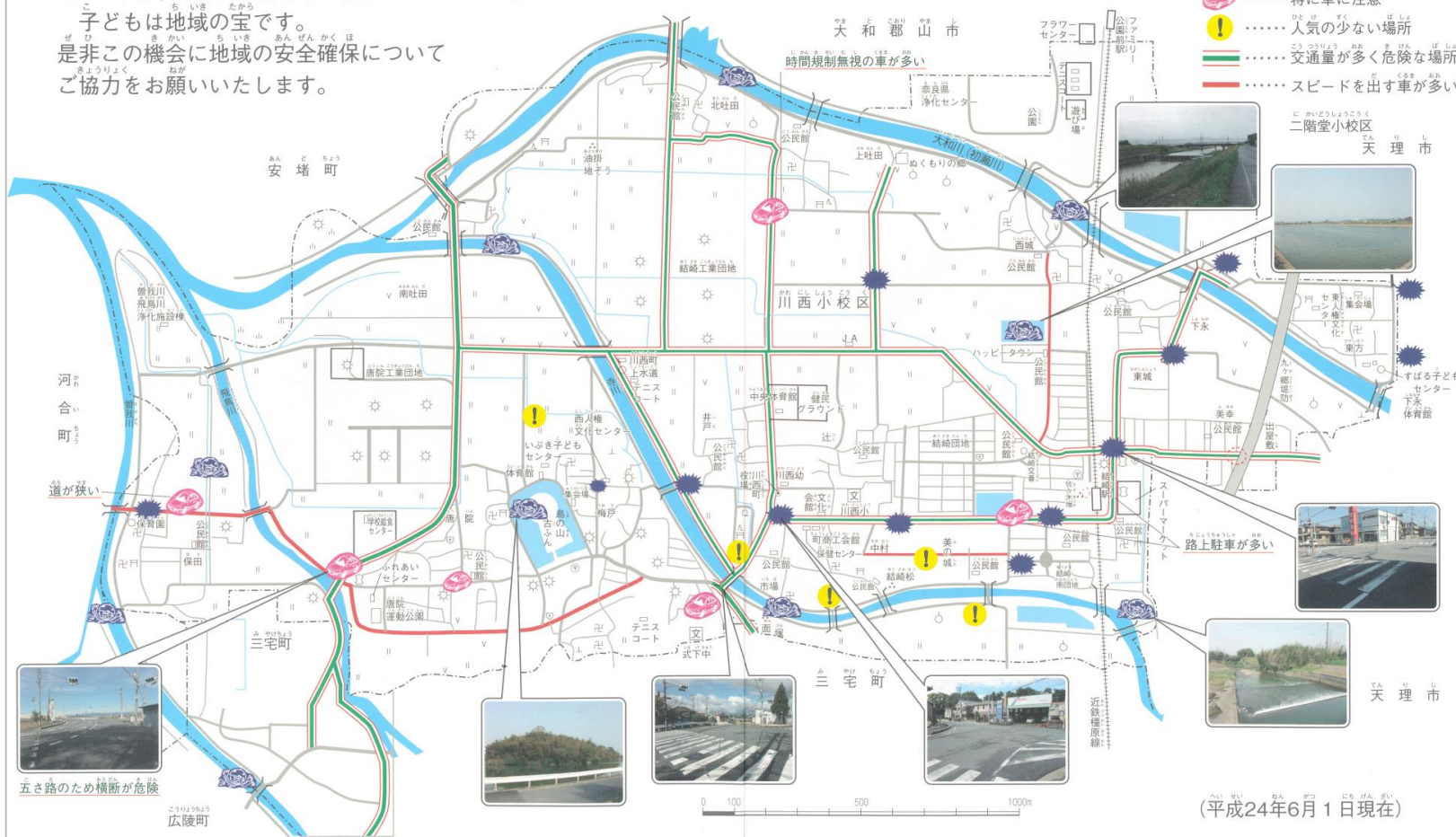
# 川西町 危険箇所 マップ

## 川西町連合PTA校外補導部

この度、川西町連合PTA校外補導部では、特に町内の水の危険な場所、交通の危険な場所、そして人気の少ない場所等を検討し、マップに仕上げました。

子どもは地域の宝です。  
是非この機会に地域の安全確保について  
ご協力をお願いいたします。

-  ..... 事故に注意
-  ..... 特に水に注意
-  ..... 特に車に注意
-  ..... 人気の少ない場所
-  ..... 交通量が多く危険な場所
-  ..... スピードを出す車が多い



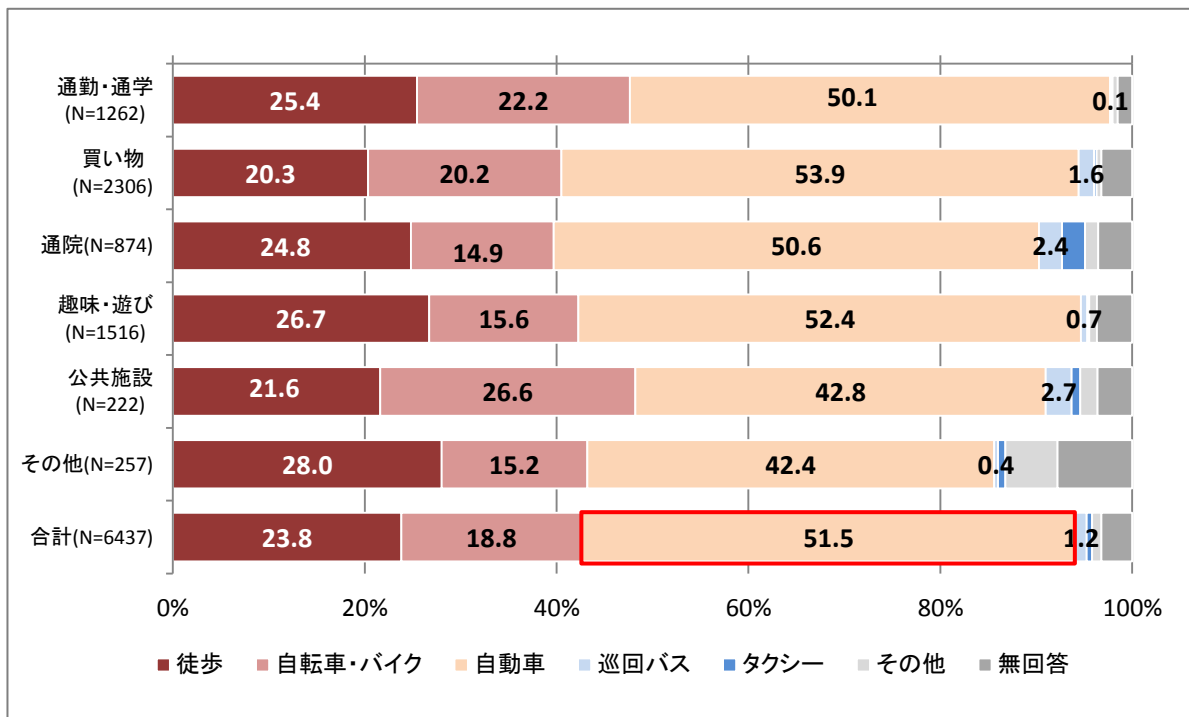
資料：町資料

## 1-9 住民ニーズ

(「川西町地域公共交通計画 H26.3」アンケート調査より)

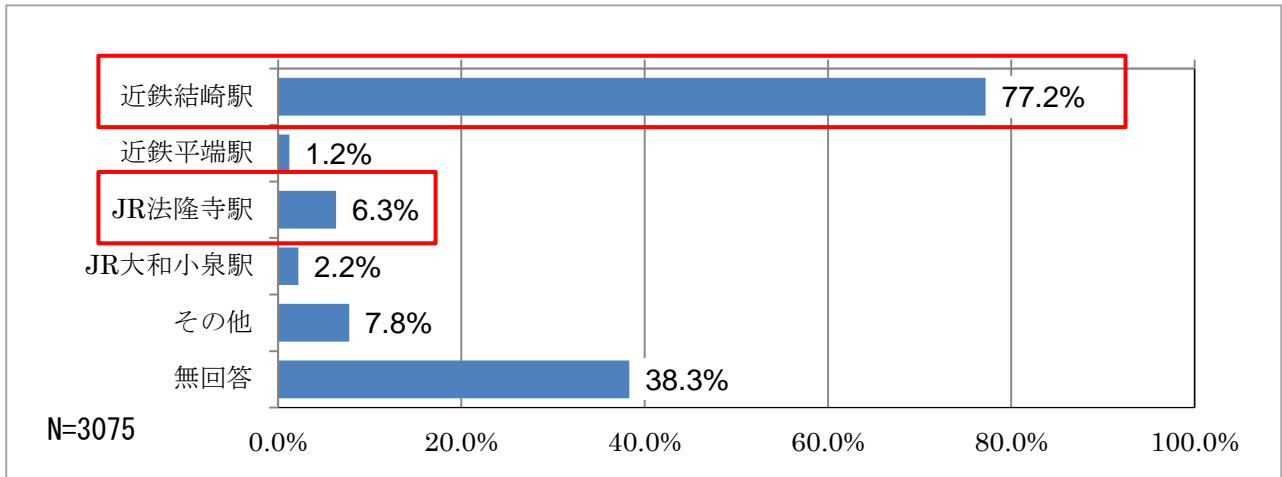
現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p>○現状、住民の交通の主役は「自動車」であり51.5%と半数を超えています。</p> <p>○「巡回バス（コミュニティバス）」利用は1.2%と非常に少ない状況です。</p> <p>○利用鉄道駅で最も多いのは「近鉄結崎駅（77.2%）」、次いで「JR法隆寺駅（6.3%）」となっています。</p> <p>○現在のコミュニティバスについて、「休日の運行」、「本数の増加」など、一層の充実を求める声が多く、「<b>町外の鉄道駅までの接続</b>」を求める声もあります。</p> <p>○利用していない方の回答では「車・バイク・自転車があり利用しない」とする回答が最も多くなっています。</p>	<p>➤ 現状は「<b>自動車</b>」に依存していることから、「公共交通」「徒歩」「自転車」に転換を進める一方、今後も「<b>自動車</b>」需要への対応が必要です。</p> <p>➤ 「巡回バス」の利用比率は1%程度であり、一層の<b>利用者数増、定着化</b>が必要です。</p> <p>➤ 将来的にはコミュニティバスの町外ルートを展望できる施策展開が必要です。</p>

注)本項の内容は前記の「1-3 代表交通手段」と類似しているが、「1-3」では住民以外の需要も含まれる事、また「川西こすもす号」運行開始されている状況での「住民ニーズ」を明確にするため記載することとした。



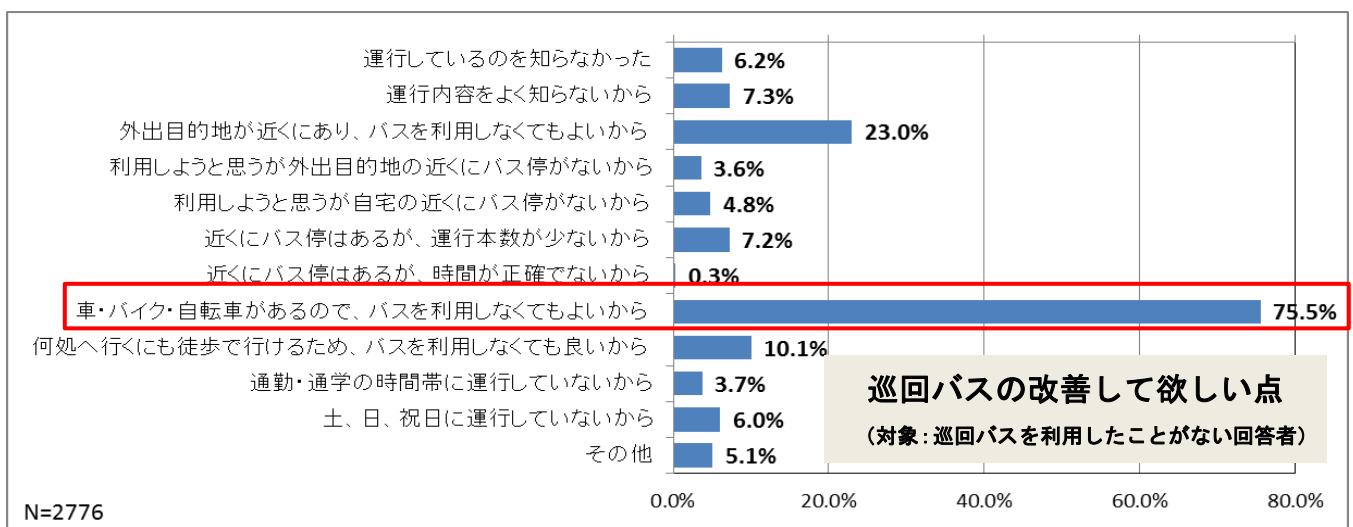
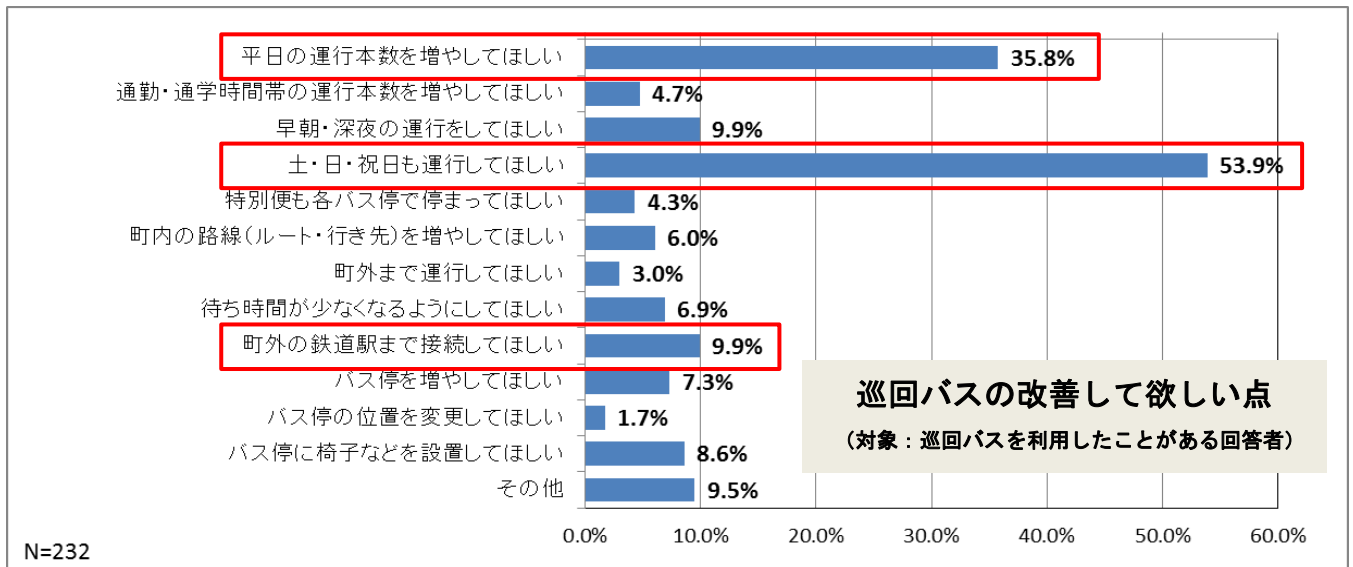
### 目的別交通手段

注)回収票は3075であるが、複数の目的ごとに交通手段の回答のため、母数(N)は6437サンプルとなる。



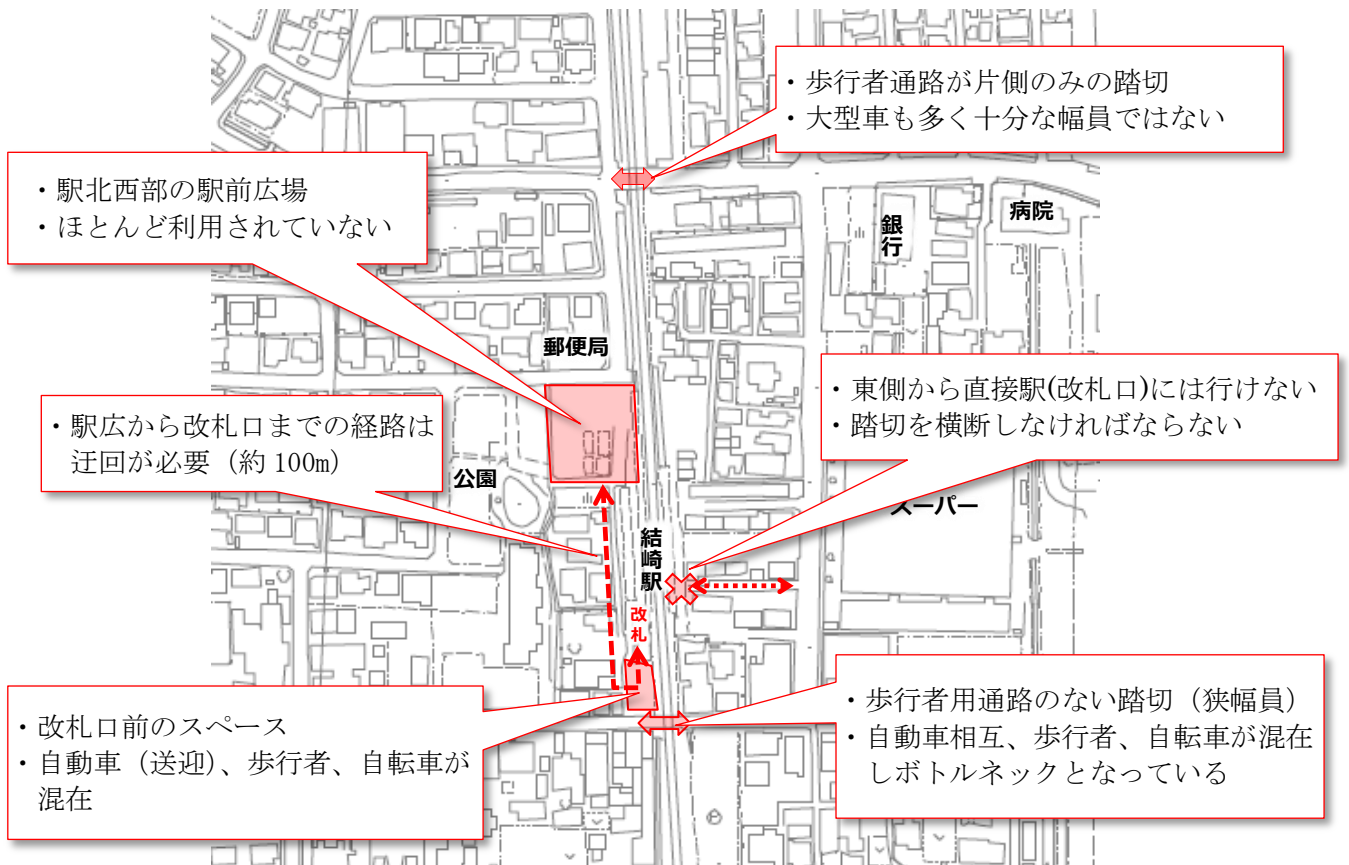
利用鉄道駅

注) 複数目的 (3つ) の駅利用比率合計のため、合計は 100% とならない。



## 1-10 結崎駅及び駅周辺の状況

現状	交通施策面の課題（ポイント）
<p><b>【駅及び駅広場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅改札口前（駅南側）のスペースに<b>送迎等の自動車と歩行者自転車</b>が混在して集中しています。</li> <li>○ 駅舎改札は西側にあり、東側からは踏み切りを横断する必要があります。</li> </ul> <p><b>【駅周辺道路等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>駅南側の踏み切りは歩行者通路がなく</b>、狭幅員であり自動車相互、歩行者、自転車が混在しボトルネックとなっています。</li> <li>○ 駅北西部には「駅前広場」がありますが、改札までのアクセスが不便であり、ほとんど利用されていません。</li> </ul> <p><b>【企業送迎バス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工業団地の<b>企業からの送迎バス</b>の運行が相当数あります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 町の玄関口としてふさわしい駅及び周辺整備が必要です。</li> <li>▶ 利用されていない「駅前広場」などの現況ストックを生かしつつ、住民ニーズを反映した「使い勝手のよい」玄関口づくりを推進する必要があります。</li> <li>▶ 本町所在企業の送迎バス利用に即した、駅前広場等の整備が必要です。</li> </ul>



○工業団地の企業から「結崎駅」への送迎バスは、5社の運行が確認されています。

(1) 結崎工業団地

企業名	出勤 退社	鉄道駅	バス運行 駅発時間	利用人数
東洋シャッター	出勤	結崎駅	7:50、8:05	約20人
		法隆寺駅	7:35、7:53	約30人
	退社	結崎駅	17:30、18:30、19:30、20:00	約20人
		法隆寺駅	17:30、18:30、19:30、20:30	約30人
GMB	出勤	結崎駅	7:25、7:50、8:10	40~50人
	退社	結崎駅	17:30、18:30、19:30（以降、残業があれば随時運行）	40~50人
新田ゼラチン	出勤	—	運行なし	—
	退社	—	運行なし	—
光洋機械	出勤	結崎駅	7:10、7:25、7:35、8:10、8:40、9:40 他	40~50人
		法隆寺駅	7:15、7:20、7:55、9:20 他	80~100人
	退社	結崎駅	17:05、18:00、19:00、19:30、20:05、20:35 他	40~50人
		法隆寺駅	16:10、17:15、18:10、19:10、20:05 他	80~100人

(2) 唐院工業団地

企業名	出勤 退社	鉄道駅	バス運行 駅発時間	利用人数
杉本カレンダー	出勤	—	運行なし	—
	退社	—	運行なし	—
大阪精工	出勤	—	運行なし	—
	退社	—	運行なし	—
大阪電気工業	出勤	結崎駅	時間を申し合わせて、交代で運転 車両：マイクロバス、乗用車各1台 駐車場：結崎駅で駐車場を借用	6名
	退社	結崎駅		6名
汎建製作所	出勤	大和小泉駅 ⇒結崎駅	7:15、7:40（45）	12~13名
	退社	結崎駅 ⇒大和小泉 駅	17:20 （残業者のため、19:00、20:00に運行、但し状況により変わる）	4~5名

工業団地企業の送迎バス運行状況

資料：川西町地域公共交通計画 H26.3]

## 1-11 交通施策面の課題（ポイント）のまとめ

ここまでに示した「交通施策面の課題（ポイント）」を分野別に整理し、下記及び次ページに図示します。

### **○交通施策面の課題（ポイント）**

#### **○少子高齢化、環境負荷軽減に対する課題**

- ・現況、「自動車」への依存が高いことを認識。
- ・自動車需要に即した対応をする一方で、環境負荷の少ない「公共交通（電車、バス）」、「徒歩」、「自転車」への転換を推進。
- ・バリアフリーの推進。

#### **○結崎駅及び駅周辺地区での課題**

- ・町の玄関口としてふさわしい駅及び周辺整備が必要。
- ・駅への自動車による送迎（K&R）の対応が必要。
- ・駅東側からのアクセス向上など、利便性向上により賑わいを創出。
- ・「結崎駅」周辺地区と公共サービス施設が立地する「町役場」周辺への「行きやすさ」「利用しやすさ」の向上。
- ・結崎駅周辺地区では「徒歩」、「自転車」需要への利便性向上と安全確保が必要。
- ・結崎駅アクセスでは地域特性（駅までの距離）に応じた効果的な施策の展開。

#### **○産業振興面での課題**

- ・二つの「工業団地」を生かした企業活動に資する道路ネットワークの推進。
- ・企業の送迎バス利用に即した、駅前広場等の整備が必要。

#### **○コミュニティバスの維持、利用促進面での課題**

- ・高齢化社会に向けて、路線の維持は必要不可欠。
- ・一層の利用者増を図るためには、「質」の向上が重要。

#### **○その他**

- ・町道の歩道整備、バリアフリー化、幅員狭小部の解消等の整備推進。
- ・場所や時間を問わず、安心して移動ができる環境づくり。
- ・個性ある観光ネットワーク形成が可能。
- ・「近隣市町村」や「大阪府」等、広域交通需要にも考慮。

**「交通施策面の課題（ポイント）」**

高齢者比率が高く  
コミュニティバス  
需要が比較的多い  
地区

**【産業振興面での課題】**

- ・企業活動に資する道路ネットワークの推進。

高齢者比率が高く  
コミュニティバス  
需要が比較的多い  
地区

コミュニティバスルート  
.....

**【コミュニティバスの維持、利用促進面での課題】**

- ・高齢化社会に向けて、路線の維持は必要不可欠。
- ・一層の利用者増を図るためには、「質」の向上が重要。

**【産業振興面での課題】**

- ・企業の送迎バス利用に即した、駅前広場等の整備が必要。

**【結崎駅及び駅周辺地区での課題】**

- ・町の玄関口としてふさわしい駅及び周辺整備が必要。
- ・駅への自動車による送迎（K&R）の対応が必要
- ・駅東側からのアクセス向上など、利便性向上により賑わいを創出。
- ・「結崎駅」周辺地区と公共サービス施設が立地する「町役場」周辺への「行きやすさ」「利用しやすさ」の向上。
- ・結崎駅周辺地区では「徒歩」、「自転車」需要への利便性向上と安全確保が必要。
- ・結崎駅アクセスでは地域特性（駅までの距離）に応じた効果的な施策の展開。

結崎駅に徒歩、自転車  
で利用する圏域

**【町全域の課題】**

**【少子高齢化、環境負荷軽減に対する課題】**

- ・現況、「自動車」への依存が高いことを認識。
- ・自動車需要に即した対応をする一方で、環境負荷の少ない「公共交通（電車、バス）」、「徒歩」、「自転車」への転換を推進。
- ・バリアフリーの推進。

**【その他】**

- ・町道の歩道整備、バリアフリー化、幅員狭小部の解消等の整備推進。
- ・場所や時間を問わず、安心して移動ができる環境づくり。
- ・個性ある観光ネットワーク形成が可能。
- ・「近隣市町村」や「大阪府」等、広域交通需要にも考慮。